

經濟論叢

第122卷 第1・2号

哀 辭

故小島昌太郎名誉教授遺影および略歴

The Oriental Bank Corporation, 1851-84年(下)

.....	本 山 美 彦	1
ドイツ第二帝制における1879年の政策転換に 関する一研究	野 田 敬 一	23
労働者の生活時間構造と余暇	福 島 利 夫	45
資本主義社会における老人の生存権について	小 川 和 憲	68
ゴエルロ計画の方法と発表後の経過	中 江 幸 雄	86

追 憶 文

小島昌太郎先生を憶う	堀 江 保 蔵	111
小島昌太郎先生を偲ぶ	中 谷 實	114

昭和53年7・8月

京 都 大 学 經 濟 學 會

哀 辞

本学名誉教授 小島昌太郎先生は 去る昭和53年6月11日 京都のご自宅にて老衰のため ご永眠されました ここに謹んで哀悼の意を表します

先生は 明治45年京都帝国大学法科大学政治学科をご卒業になり 大正6年法科大学講師 同7年助教授 同8年経済学部創設とともに同学部勤務となられ 同13年より昭和21年ご退官まで教授として教育と研究および後進の養成に尽力されました その間昭和4年から6年まで経済学部長として大学行政の面でも多くの貢献をされました その後 昭和23年には兵庫県立神戸商科大学長 同37年には桃山学院大学長と要職を歴任され わが国教育界において大きな活躍をされました

先生は 保険論 海運・交通論 経営学 金融論の先駆的学者として 30冊を超える著書および多数の論文を残され わが国のみならず世界の学界に与えられた影響は まことに大なるものがあります

先生は 昭和17年に勲二等 同21年には正三位に叙せられ 同40年には旭日重光章の叙勲を受けられました また同42年に日本海運経済学会会長に就任 同45年には運輸大臣より交通文化賞を授与されましたが これらは先生の功績がいかに偉大であったかを示すものであります

経済学部にて在職中 おおくの子弟を教育され また本誌にも数多くの貴重な論文を発表され わが学会のため このほかご尽力をいただきました 茲に 在天の先生の御霊にたいして ころから御冥福をお祈り申し上げます

昭和53年7月10日

京都大学経済学会



故小島昌太郎名譽教授遺影

小島昌太郎先生御略歴

明治21年1月21日	大阪市南区九郎右衛門町に生る
明治45年7月20日	京都帝国大学法科大学政治学科卒業
大正6年7月24日	本学法科大学講師
大正7年4月22日	京都帝国大学法科大学助教授
大正13年3月31日	京都帝国大学教授（経済学部）
大正15年6月5日	経済学博士
昭和4年11月30日	京都帝国大学経済学部長
昭和17年3月10日	勲二等に叙せらる
昭和21年3月30日	依願免本官
昭和21年4月24日	正三位に叙せらる
昭和23年11月13日	兵庫県立神戸商科大学長
昭和25年11月4日	京都大学名誉教授
昭和37年4月1日	桃山学院大学長
昭和40年11月3日	旭日重光章を授けらる
昭和42年10月14日	日本海運経済学会会長
昭和45年11月3日	運輸大臣から交通文化賞を授けらる
昭和53年6月11日	御逝去